※令和３年度以前入学生用

学校番号	1004

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「新編現代文Ｂ」　（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ

・社会人に必要となる総合的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的,課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	「自然」を考える	ゴリラの思いやり	○		○	◎	○	a: 教材文の内容をふまえ、人間の野生動物との付き合い方について考えを深めようとしている。 c: 教材文中の語句や言い回しを使って、短文を書いている。 d: ゴリラ的な世界とチンパンジー的な世界との違いを読み取っている。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a: 観察・自己評価 c: 観察・ノート d: 観察・ノート・ワークシート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査
	若い人たちへ	どんな人になりたかったか？	○		○	◎	○	a: 教材文に興味をもち、筆者が伝えたいことを読み取ろうとしている。 c:「どんな人になりたかったか」「どんな人になりたいか」ということについて、自分の考えを文章にまとめている。 d:「どんな人になりたかったか」という質問に対する、二通りの答え方を理解している。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a: 観察・自己評価 c: 観察・作品・相互評価 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査
	小説を楽しむ(二)	待合室	○	○		◎	○	a: 登場人物の心情を想像しながら小説を読むことに意欲をもっている。 b: 登場人物の設定が作品中で、どのような役割をもっているのか、自分の意見をもって話し合いに参加している。 d: 男の子にクワガタを渡すと約束した江田先生の真意を、理解している。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a: 観察・自己評価 b: 観察・自己評価・相互評価 d: 観察・ノート・ワークシート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査

※令和３年度以前入学生用

2学期	社会に生きる	幸せの分量	○		○	◎	○	a: 教材文の内容をふまえ、現代の日本社会の問題について、考えを深めようとしている。 c:「幸せの量はみんな同じ」という筆者の主張を的確にまとめ、それをふまえた自分の意見をまとめている。 d: 筆者が現代の日本社会についてどのように考えているか、読み取っている。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a: 観察・自己評価 c: 作品・相互評価 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査
	伝統を受け継ぐ	ひかりのどけき春の日に――日本人と桜	○	○	○	◎	○	a: 教材文に関心をもち、桜にまつわる日本人の感性について読み取ろうとしている。 b: 桜を詠んだ詩歌や俳句を集めて発表する活動に積極的に参加し、わかりやすく話している。 c: 桜を詠んだ詩歌や俳句について、自分の考えや調べたことを文章にまとめている。 d: 紀友則、在原業平、兼好法師の桜に対する思いを、それぞれ読み取っている。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a: 観察・自己評価 b: 観察・相互評価 c: 作品・観察・相互評価 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査
	名作を読む(二)	こころ	○	○		◎	○	a: 小説を読み、登場人物の行動や心情、情景などを味わっている。 b: 教材文を読み、自分が関心をもったことについて調べてまとめ、発表している。 d: 場面ごとの「私」の心理を、文脈をふまえて理解している。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a: 観察・自己評価 b: 作品・相互評価 d: 観察・ノート・ワークシート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査
3学期									

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。